

図書館だより

8月

開館時間
8時50分～4時

ワシントン日本語学校図書館 (toshio@wils.org) 令和6年 8月号
開館時間 8時50分～16時00分

夏休み、楽しい読書ができましたか

長いようであつという間に終わった夏休みは、ふだんなかなか読めない長編や新しいジャンルの本を読んでみる良い機会でした。時間を気にせず好きなだけ読める時、みなさんはどんな本と出会いましたか。心に残る一冊、忘れられない一冊の本、きっと心の友達を1つ、2つとふやすことができたのではないのでしょうか。前期後半も、本の友だちをたくさんふやしていきましょう。

人気シリーズ利用案内

「発明/実験対決」「漫画」「サバイバル」「タイムワープ」については、生徒それぞれ1冊まで借りることができます。放課後、対象の本が棚に残っている場合、保護者の方にも貸出できます。

図書館利用案内

- ・図書館ではオンライン予約（生徒一人一冊）の他に、借りたい本が貸出中などで見つからない時は、予約ができます。カウンターにてお申し込みください。
- ・貸出期間は**2週間**です。たくさんの方がお待ちの本も多数ありますので、**期限内の返却**にご協力をお願いいたします。
- ・汚したり壊したり、雨や飲み物等で濡らさないよう、大切に扱しましょう。
- ・汚損・破損・水濡れの程度によっては、弁償していただく場合がありますのでご注意ください。
- ・図書館で借りた本などを誤って破損した場合は、セロテープなどで修理せず、そのままの状態でお持ちください。図書館で修理を行います。

6月人気ランキング

児童書シリーズ

1

おばけずかん / 齊藤洋
ふしぎ駄菓子屋銭天堂 / 廣嶋玲子

2

5分後に意外な結末 / 桃戸ハル
おしりダンディ / トロル

3

ホネホネザウルスシリーズ / 岩崎書店
スカンピーシリーズ / 学研

作家

絵本シリーズ

1

知念実希人

1

「ノラネコぐんだん」シリーズ

2

東野圭吾
青山美智子

2

「100かいだて」シリーズ

3

町田そのこ・風良ゆう

3

「どんぐりむら」シリーズ

6月の貸出状況

貸出利用者
生徒 695人
保護者 316人

貸出冊数 3,321冊

夏休み前に
借りた本は
17日にすべて
忘れずに返却して
ください。

今の特集 夏の本 戦争と平和の本



「まほうの夏」藤原一枝 (岩崎書店)

夏休みに入っても退屈していた僕と弟。ある日おじさんから一枚のはがきをもらった。「あそびにおいで」と書いてある。ぼくたちは大喜びでおかあさんのいなかに行った。虫取り、海水浴、木のぼり…圧巻は海釣り！大自然のなかで思いっきり遊んだ、ぼくと弟のまほうの夏の想い出で描く絵本。(対象年齢：幼児・小学校低学年から)



「おさるがおよぐ」いとうひろし (講談社)

南の島に住んでるおさるのぼくは、島のことなら何だって知っています。おさるの「ぼく」が初めて島をでてみると……海のむこうが見たくなったおさるの「ぼく」は、ある日沖に向かって泳ぎ始めました。広い海のまん中でぼくが見たのは、やっぱり広い広い海と広い広い空でした。さあ、おさるの大冒険のはじまりです！(対象年齢：小学校低学年から)



「ツバメ号とアマゾン号」アーサー・ランサム (岩波少年文庫)

夏休み、ウォーカー家の4人きょうだいは、小さな帆船「ツバメ号」に乗って、子どもたちだけで、無人島ですごします。湖を探検したり、アマゾン海賊を名乗るナンシーとペギイの姉妹からの挑戦をうけたり、わくわくするできごとがいっぱい！(対象年齢：小学校高学年から)



「冒険図鑑」さとうち藍 (福音館書店)

歩く、食べる、寝る、作って遊ぶ、動・植物との出会い、危険への対応の6章からなる、自然を知って野外生活を楽しむための案内書。薬草、応急手当、料理の基本、観天望気など、外出時はもちろん、家庭でも役立つ情報がたくさん。小学生や、これから野外生活を始めようとする人たち、すでに経験豊富なベテランまで、あらゆる人にぴったりの野外生活必携の本。(対象年齢：小学校中学年から)



「この計画はひみつです」

ジョナ・ウィンター (鈴木出版)

ニューメキシコの砂漠の名もない町に、科学者たちがやってきました。ひみつの計画のために、政府にやとわれた科学者たちです。計画は極秘とされ、だれひとり情報をもらしません。思いもよらないものが作られているにちがいありません。もうすぐ完成しそうです。時計の針がチクタクと時を刻み…(対象年齢：小学校低学年から)



「ヒットラーのむすめ」フレンチ・ジャッキー (鈴木出版)

雨がふりつづいていたある日、スクールバスを待つ間に、オーストラリアの少女アンナがはじめたお話ゲームは、「ヒットラーのむすめ」の話だった…。もし自分がヒットラーの子もどったら、戦争を止められたのだろうか？もしいま、だれかがヒットラーと同じようなことをしようとしていたら、しかもそれがぼくの父さんだったら、ぼくはどうするべきなのだろうか？(対象年齢：小学校高学年から)



「出口のない海」横山秀夫 (講談社)

人間魚雷「回天」。発射と同時に死を約束される極秘作戦が、第2次世界大戦の終戦前に展開されていた。ヒジの故障のために期待された大学野球を棒に振った甲子園優勝投手・並木浩二は、なぜみずから回天への搭乗を決意したのか。命の重みとは、青春の哀しみとは――。ベストセラー作家が描く戦争青春小説。

虫取り、海水浴、キャンプ…！あともう少し、夏休みは何をして遊ぼうかな？図書館でワクワクする本を探してみよう！そして8月15日は終戦記念日です。戦争体験を聞く機会が少なくなっている今、改めて本から戦争や平和について学びませんか。戦争や平和に関する本を紹介します。今一度平和について考えてみましょう。



「だいぶつさまおまつりですよ」荻田澄子 (アリス館)

今日は、仏さまたちのおまつり。大きな大きな大仏さまは、かき氷はひとなめだし、きんぎょすくい、うまくできないし、お面は顔からはみだしちゃう…。お化け屋敷に行った、大仏さま。体が大きくて入れません。そこで窓からのぞいてみると…。大仏さま、大活躍！(対象年齢：5歳・小学校低学年から)



「願いがかなうふしぎな日記」本田有明 (PHP研究所)

夏休みに入っても退屈していた僕と弟。ある日おじさんから一枚のはがきをもらった。「あそびにおいで」と書いてある。ぼくたちは大喜びでおかあさんのいなかに行った。虫取り、海水浴、木のぼり…圧巻は海釣り！大自然のなかで思いっきり遊んだ、ぼくと弟のまほうの夏の想い出で描く絵本。(対象年齢：小学校中学年から)



「すいかの匂い」江國香織 (新潮文庫)

あの夏の記憶だけ、いつまでもおなじあかるさでそこにある。つい今しがたのことみたいにーバナナアイスの木べらの味、ビニールプールのへの感触、おはじきのたてる音、そしてすいかの匂い。無防備に出遭ってしまい、心に織りこまれてしまった事ども。おかげで困惑と痛みと自分の邪気を知り、私ひとり、これは秘密、と思い決めた。11人の少女の、かけがえのない夏の記憶の物語。(対象年齢：中学生から)



「トットちゃんの15つぶのだいず」黒柳徹子 (講談社)

トットちゃんの小学校時代は、日本が戦争をはじめた時代でもありました。トモエ学園の楽しいお弁当の時間。あまい、あまいキャラメル。家族そろって安心で、うれしかった毎日から、いろいろなものがなくなっていく。そして、ある日、とうとう一日の食べものが、炒った大豆15つぶだけになってしまいました。トットちゃんは、15つぶをいつ食べるか、悩みに悩んで…。(対象年齢：5歳・小学校低学年から)



「戦争をやめた人たち 1914年のクリスマス休戦」鈴木まもる (あすなろ書房)

今から100年以上前の1914年、7月。ヨーロッパをはじめ多くの国をまきこむ戦争がはじまりました。第一次世界大戦です。これは、戦争がはじまった5か月後の12月24日の夜に、フランスやベルギーにせめこむドイツ軍と、むかえうつイギリス軍との最前線で実際に起こったお話です。(対象年齢：小学校中学年から)



「ある晴れた夏の朝」小手鞠い (偕成社)

アメリカの8人の高校生が、広島・長崎に落とされた原子爆弾の是非をディベートする。肯定派、否定派、それぞれのメンバーは、日系アメリカ人のメイ (主人公) はじめ、アイルランド系、中国系、ユダヤ系、アフリカ系と、そのルーツはさまざま。はたして、どのような議論がくりひろげられるのか。そして、勝敗の行方は？(対象年齢：中学生から)



「日本の歴史 別巻 よくわかる近現代史 (2)

戦中・戦後の日本」山本博文 (角川書店)

盧溝橋事件により始まった日中戦争は長引き、戦争優先の国家体制で、国民生活は圧迫されていきます。さらに1939年、ヨーロッパではナチス・ドイツの台頭により第二次世界大戦が、1941年には日米間で太平洋戦争が始まります。日本は、空襲や沖縄戦、原爆投下を経て、1945年に無条件降伏しました。連合国に占領された日本はGHQにより民主化され、やがて1951年講和によって独立を回復するのです。日本史と世界史がひとつの流れでスラスラ読める！